



## 第 1355 回例会報告

平成26年3月6日(木)晴

### 会長挨拶

会長 平山隆勇

### ペースメーカー

3月2日の日曜日、雪が降りそうだとの天気予報だったので、家でテレビのチャンネルを変えているうちに『びわ湖毎日マラソン』の中継が目に入りました。画面ではペースメーカーと呼ばれるゼッケンの色が違う選手が3人、並んで先頭を走っていました。今までペースメーカーのことなど余りに留めたことはなかったのですが、3人とも同じ肌の色のアフリカ人だったので目についたのかもしれませんが。

近年、陸上競技の商業化により、マラソン大会も高記録が求められるようになりました。ペースメーカーの導入は、レース序盤でライバル選手同士の牽制によるスローペースを減らす他、有力選手の風除けの役割も果たすため、高記録が期待できると言われています。一方で30kmまでの選手間の駆け引きが減り、マラソンの面白味が失われたという意見もあります。ペースメーカーは大分前からマラソンレースを陰で支えてきたのですが、日本ではアテネ五輪(04年)の男子選考レースからその存在が公認され、私達もその存在を知ることになりました。今回私がテレビで見たレースでも、主催者が契約した3人のペースメーカーが1kmを3分位のペースで走り、1人は25kmで、他の2人は30kmで走るのをやめました。そのお陰か、日本人トップの2位に入った佐々木悟選手は2時間9分47秒で、いわゆる「サブテン」を果たしました(2時間10分をき

ることをサブテンと言うそうです)。

ペースメーカーというと、心臓のペースメーカーが頭に浮かぶ方が多いかもしれません。この装置は心臓を収縮させるための刺激がうまく伝わらず、心臓の拍動が少なくなりすぎて、脳に十分な血液が行かず失神してしまうような場合に使われていますが、最近では一部の頻脈性不整脈や、慢性心不全の治療にも使われることがあります。心臓ペースメーカーは心拍の乱れを正して、心臓の機能を保つ役目を担ってくれます。

全く違う分野で使われるペースメーカーですが、ペース配分や規則正しいリズムというものはとても大切なことです。自分にあったペースを守りながら、必要な時にはちょっと頑張り、その後は上手にリラックスする、この当たり前なことがみなさんの健康を維持し、『よい仕事』あるいは『よい奉仕活動』を長く続けることを可能にするのです。

マラソン中継を見てふと思ったことをお話しさせていただきます。

#### ■出席報告

会員数	37名
出席対象	36名
出席者数	26名
出席率	72.2%
前回修正	83.3%

#### ■ニコニコBOX

18名	23,000円
累計	829,000円
目標額	130万円
達成率	63.8%

#### ■今週のことば

去る3日74歳の誕生日を迎えました。73才で亡くなった兄の年を超えることができました。

林洋三

小諸RCへ行ってきました。鍵盤ハーモニカ101台いただきました。

長崎政直



## 第 1355 回例会

## 私の生い立ちと職業

## 新会員卓話 坂村龍玄

坂村龍玄と申します。諏訪市大和の寿量院の住職です。

山口県長門市という所で、昭和29年10月5日に生まれました。安部総理の故郷で、安部総理と同じ歳であります。



5人兄弟の末子で、真中に姉が1人です。祖父が熱心なお念仏の信者で、一日中、ブツブツとお念仏をお称えして居ました。怒った事の無い人で、私達が悪い事をする時「そんな事じゃ人間になれんぞ」と悲しい顔をするのが常でした。海辺に育ちましたが、我家は魚釣りが禁止でした。「漁師は生きんが為に殺生をするんだ。遊びで殺生したらいかん」というのがその理由でした。子供の頃はそれが理解できず、隠れて友達とよく行っていました。沢山釣れたので、友達が褒められると言っていたので、私も持って帰ると、怒られて逃がして来いと言われました。

その祖父の願いが孫の内、誰か一人をお坊さんにという事でした。父は一人っ子で家業を継がせるしかなく、孫の男の子の内、長男はやはり家業を継がせ、次男を期待して和法(かずのり)という名前を付けたのですが、ゴタツ小僧で興味無し。三男も可能性無く、四男の末子の私に、最後の期待と願いがかかって来ました。気が付いたら、小さい頃から毎夕、祖父と仏壇の前でお勤めをしていました。

泣き虫で小学校6年生まで母と一緒に布団で寝ていました。暗闇が怖く懐中電灯をいくつも持って寝るのが常でした。暗闇イコール死というイメージで死ぬという事が怖く、子供の頃から考えていました。お坊さんになったら解決できるのかなって思って、抵抗無くレールの上を歩いていました。又、祖父の様になれるのかなって、少し懂れていました。しかし残念ながら、その両方も未だ解決できておりません。祖父にも、檀家さんにも、申し訳無い限りです。

学校を卒業してから、大阪のお寺に3年間随身していました。都会のお寺は葬儀屋さんから「お葬式をお願いします」と、どんどん紹介されて大忙しのお寺が有ります。そんなお寺の一つでした。七日七日(中陰)のお参り、月参り(月の命日)が有り、1日10軒以上、1日中バイク、車で走り回っていました。1年がたった頃、学ぶ事が無くなり又、こんな生活に慣れるとダメだと思って、友人達に住職になれるお寺を探して欲しいと頼みました。2年経った時に話しが有り、お寺を見に行き決めて、3年の約束だったので3年間勤めて家族と共に引越しました。駒ヶ根の安性寺という檀家さんの無いお寺です。

まだ若かったので、何とかなるんじゃないかと、無謀さに気が付きませんでした。幸いに良い人達に恵まれて、なんとか波々身適でやってこれました。本寺が安楽寺という、檀家さんが二千軒以上有るお寺で、そこのお葬式に呼んでもらい又、近所のお寺に声をかけて頂き、葬儀の助法で生活をしていました。その間、三協の内職、学習塾の先生、建設会社の作業員、マンホールとかU字溝を作る会社等のアルバイトなどをしました。大阪のお寺からもお葬儀があつたり、忙しい時に呼んでもらったりして、色々な経験が出来ました。みんなまわりの人が、心配してくれて、紹介してくれました。本当に有難い事だと感謝しています。これもお坊さんになったからこそだと、なんと有難い仕事だろうと心の底から思っています。

安楽寺の弟子にしてもらい、息子さんが継がなかった寿量院の住職として迎えられました。お陰様で寿量院はアルバイト無しでやっております。ご存じの様に、ここにおられる某ヤマトの会長さんが、総代会長と建設委員長で、2

70年振りに本堂建て替える事が出来、庫裡も建て替え、駐車場も作る事が出来ました。渡辺さんと檀家さんのお陰です。感謝です。少しだけ、住職としての便命を果せたかな？と思っています。

寺院はこれから非常に苦しい時代に突入します。

まず第1に、檀家さんの減少。少子化と結婚しない若者に起因する減少

第2に、檀家制度の崩壊。マッカーサーの日本弱体化を狙った家長制、つまり〇〇家という家の崩壊。これは財産相続の平等という事です。親を看た者と看ない者も平等だったら、誰が面倒を見るのでしょうか。又、本家としての体面も保てないでしょう。体面という考え方自体も否定されるでしょう。

第3に、寺院(僧侶)に対する不信感と社会(お付き合い)の変化。葬儀、法事等の不用論(お墓も)

私達、僧侶に残された時間は、もう無いと考えています。次世代に引き継いでもらう為には、少しでも財産(お教え)を残さないと、次世代は壊滅してしまうでしょう。

それには、一個人、一ヶ寺ではどうしようもないと思います。残念ながら大企業、又、都会の企業にはその意識が希薄としか思えません。自分達が不信感を一番産み出しているのに自分達は一番安全な所に居るからです。私は、ここに居られる、某、長地の大企業の尊敬する会長様にリーダーになって頂き、少しでも次世代に残せる物を増やしたいと思っています。

## 2013～2014 年度事業経過報告

青少年奉仕委員長 小口直久

例会第1部は、小口直久青少年委員長による事業経過報告でした。

1. 青少年奉仕の重要性を理解し、推進していきます。

2. 担当例会の実施と充実

第1回9月5日インターアクト地区大会の報告および、今年度の事業内容について

第2回10月10日ガールスカウト活動資金授与・代表卓話

第3回12月5日下諏訪中学校長、登内先生による卓話

第4回3月6日今年度事業経過報告、新会員、坂村様による卓話

第5回5月8日歌(童謡など)を通じた手話教室(予定)

第6回6月12日職場体験学習について(予定)

### 3. 地域青少年活動への支援と交流

1) 下諏訪中学校生徒への講師派遣

職場体験学習の一環として、大澤会員に「働くとは」をテーマに、講演いただきました。

2) 下諏訪中学校生徒との交流と協働奉仕活動  
社会奉仕委員会と協力し、和田峠清掃、里山整備事業を実施します。

下諏訪町学校支援地域本部の協力事業

9月16日講師白井一幸氏を招いて、「子供のやる気を引き出す方法」をテーマにした講演会の計画、準備、実行

9月20日下諏訪中学校文化祭「なぎがま祭」の音楽会に来賓として参加。

10月18日「未来の下諏訪教育を語る会」シンポジウム参加。

3月19日卒業証書授与式出席予定。

4月4日入学式出席予定。

3) 下諏訪中学校以外の学校(町内)との交流の推進を図ります。

社中学校、南小学校、北小学校の生徒たちと何が出来るか、模索しております。

4) 生徒の職場体験学習が有意義なものになるよう、支援をします。

今回、6事業所で12名の生徒の受け入れをしました。講演会、職場の提供等、大変喜んでいただきました。

5) ガールスカウトへの支援と協働奉仕活動資金(100,000円)授与、社会奉仕委員会との共同での清掃活動については、天候により中止となりました。

6) 諏訪ローターアクトとの交流

2月7日諏訪、伊那合同のローターアクトクラブ例会に参加。懇親会も参加して、友好を深めました。

3月18日青少年奉仕委員有志による、諏訪ローターアクトクラブ訪問を予定。

4月17日お花見例会に、諏訪ローターアクトクラブの皆様に参加を打診中。



#### 4.地区事業への参加協力

7月21日第21回インターアクト地区大会参加。

9月28日第25回ライラ参加。

5月25日第38回ローターアクト大会参加予定。

#### 5.各委員会と連携しての協働作業

諏訪湖清掃、和田峠の清掃

#### 6.古切手、書き損じはがきの収集

収集したものを、有効に活用いただけるように、検討いたします。



VI. 記念誌についてお答え下さい。当会は周年毎に記念誌を作成しています。ご意見をご記入下さい。

1 未回答 3件

2 簡単でもつくる。3件

3 発行賛成

4 写真特集

5 節目ごとに発行することはクラブ発展のためにも意義がある。

6 記録誌として残るので作成する。

7 25期までは簡潔、26期～30期は詳しく。

8 5年間の活動記録を遺すために作成する。

9 事業などの記録として必要と思う。

\*1 過去周年毎に発行された記念誌と重複する事が多いと思う。特に必要ないのでは…

また何も作成しないと淋しいという事になれば 発足～現在までを年表形式で冊子形式でなく  
ファイルに綴られるようにしたら良いと思います。

VII. 過去の周年を迎えたときには実行委員会が組織されてきました。

この度30周年を迎えたときの事業組織についてご意見をご記入下さい。

1 未回答 3件

2 周年通りでよい。

3 全員が参加できる様な組織 (20・25周年程度)

4 実行委員会を設ける。 6件

5 従来の組織でよい。

6 実行委員会を組織するべきで現在の会員数を考慮して 理事会=実行委員会でもよい。

7 準備委員会は至急立ち上げるべきである。

\*1 大変ご苦労とは思いますがその年度の理事さんで御願ひするのが良いのではないかと  
思います。(クラブ奉仕委員会が中心)

VIII. 記念式典を行うとしたら何月何日をご希望されますか。

1 未回答 3件

2 11月中旬(土曜日) 2件 11月 1件

3 12月12日頃 2件 12月11日(木)

4 創立日に捉われなくてもよい。

5 2014年中か2015年早期

6 認証式が行なわれた頃(3月～4月)

7 実行委員会におまかせ

\*1 一任します。

IX. ご自由にご意見をお書き下さい。

1 この機会にクラブのあり方ロータリーのあり方について議論することもよい。

2 30周年で全会員が会員拡大に取り組むこともありではないか。

3 諏訪湖ロータリークラブの身の丈に合った記念式典が望ましい。

4 過ぎた5年間の活動を評価し、次の5年10年を拓く機会としたい。

5 周年に向けて会員意識の高揚を計り 連携・絆を生むために早めに準備委員会の設置が  
大切であり 準備プロセスが最も大切である。

\*1 記念式典は過去の諸先輩方の積み重ねにより現在の30年がある訳ですのでその努力に  
感謝し労をねぎらい今後の諏訪湖RCの発展と会員の事業発展のためにそれぞれの会員  
意識が前向きに心の底から本当の意味での仲間になれるような式典行事になれば良い。